



2021年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2021年5月19日

上場会社名 株式会社 光陽社
 コード番号 7946 URL <http://www.koyosha-inc.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 犬養 岬太

問合せ先責任者 (役職名) 取締役業務本部長 (氏名) 富 正俊

TEL 03-5615-9061

定時株主総会開催予定日 2021年6月24日

有価証券報告書提出予定日 2021年6月28日

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の連結業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	3,830	11.0	154		77		112	
2020年3月期	4,302		13		9		36	

(注) 包括利益 2021年3月期 112百万円 (%) 2020年3月期 35百万円 (%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	自己資本当期純利 益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	100.59		4.9	1.8	4.0
2020年3月期	32.46		1.6	0.2	0.3

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 百万円 2020年3月期 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	4,198	2,225	53.0	1,994.84
2020年3月期	4,068	2,338	57.5	2,095.56

(参考) 自己資本 2021年3月期 2,225百万円 2020年3月期 2,338百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	202	60	181	1,615
2020年3月期	141	313	104	1,292

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期		0.00		0.00	0.00			
2021年3月期		0.00		0.00	0.00			
2022年3月期(予想)		0.00		0.00	0.00			

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,000	4.4	56		33		43		38.54

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期	1,400,100 株	2020年3月期	1,400,100 株
期末自己株式数	2021年3月期	284,426 株	2020年3月期	284,306 株
期中平均株式数	2021年3月期	1,115,733 株	2020年3月期	1,115,926 株

(参考)個別業績の概要

2021年3月期の個別業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	3,725	13.3	160		83		117	
2020年3月期	4,296	3.6	39	57.6	64	50.8	91	39.2

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期	105.74	
2020年3月期	81.55	

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	4,236	2,274	53.7	2,038.79
2020年3月期	4,122	2,392	58.1	2,144.66

(参考) 自己資本 2021年3月期 2,274百万円 2020年3月期 2,392百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想については、添付資料2ページ「経営成績に関する分析」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	5
連結損益計算書	5
連結包括利益計算書	6
(3) 連結株主資本等変動計算書	7
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染拡大による影響が深刻化し、景気が急速に悪化しました。一時は、政府や自治体による各種キャンペーンや、経済活動の再開により、回復の兆しも見られましたが、新型コロナウイルス感染症の再拡大、緊急事態宣言が再発令されるなど、同感染症収束の見通しが立たず、依然として先行きは不透明な状況となっております。

印刷業界におきましては、電子メディアの多様化による印刷物の需要の減少、受注価格の下落、イベントの中止に伴う印刷メディアの減少など、厳しい経営環境となりました。

このような状況の中、当社は、お客様のニーズに応えるべく、抗菌加工印刷を施した商材等を投入するなど営業力・提案力の強化を図るとともに、生産効率の向上、内製化の推進、収益性の改善に取り組んでまいりました。

以上のとおり、経営全般にわたる諸施策の展開に努めた結果、当連結会計年度における売上高は38億30百万円（前期比11.0%減収）となりました。その内訳は写真製版売上高7億42百万円（前期比29.0%減収）、印刷売上高30億44百万円（前期比4.9%減収）、商品売上高43百万円（前期比23.7%減収）となりました。損益面においては、営業損失1億54百万円（前期は営業損失13百万円）、雇用調整助成金49百万円の計上等により経常損失77百万円（前期は経常利益9百万円）、法人税等調整額42百万円の計上等により親会社株主に帰属する当期純損失1億12百万円（前期は親会社株主に帰属する当期純利益36百万円）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の流動資産は28億15百万円となり、前連結会計年度末に比べて2億77百万円増加しました。これは主に、現金及び預金が3億23百万円増加した一方、電子記録債権が30百万円、仕掛金が22百万円減少したことによるものです。有形固定資産の合計は11億85百万円となり、前連結会計年度末に比べて94百万円減少しました。これは主に、機械装置及び運搬具（純額）の新規取得39百万円、その他（純額）に含まれる工具、器具及び備品の新規取得28百万円による増加と、減価償却費1億61百万円を計上したことによるものです。無形固定資産の合計は22百万円となり、前連結会計年度末に比べて3百万円減少しました。これは、その他に含まれるソフトウェアの新規取得4百万円による増加と、減価償却費7百万円を計上したことによるものです。投資その他の資産は1億75百万円となり、前連結会計年度末に比べて49百万円減少しました。これは主に、繰延税金資産が32百万円減少し、償却費13百万円を計上した事によるものです。前述の結果、固定資産合計は13億83百万円となり、前連結会計年度末に比べて1億46百万円減少しました。以上の結果、資産合計は41億98百万円となり、前連結会計年度末に比べて1億30百万円増加しました。

当連結会計年度末の流動負債は9億62百万円となり、前連結会計年度末に比べて78百万円増加しました。これは主に、支払手形及び買掛金が32百万円、その他に含まれる未払消費税等が29百万円、預り金が13百万円増加したことによるものです。固定負債は10億10百万円となり、前連結会計年度末に比べて1億64百万円の増加となりました。これは主に、金融機関からの長期借入金2億50百万円と、長期借入金の返済による減少78百万円、退職給付引当金の減少6百万円によるものです。前述の結果、負債合計は19億73百万円となり、前連結会計年度末に比べて2億43百万円の増加となりました。

当連結会計年度末の純資産合計は22億25百万円となり、前連結会計年度末に比べて1億12百万円減少しました。これは主に、親会社株主に帰属する当期純損失1億12百万円による利益剰余金の減少によるものです。

以上の結果、負債・資本合計は41億98百万円となり、前連結会計年度末に比べて2億90百万円の減少となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、営業活動によるキャッシュ・フローで2億2百万円増加、投資活動によるキャッシュ・フローで60百万円減少、財務活動によるキャッシュ・フローで1億81百万円増加し、資金は3億23百万円増加となり、当連結会計年度末残高は16億15百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度末において営業活動における資金は、2億2百万円の増加となりました。これは主に税引前当期純損失69百万円、減価償却費1億69百万円、売上債権の減少額33百万円、仕入債務の減少額32百万円、未払消費税等の増加額29百万円の資金の増加によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度末において投資活動における資金は、60百万円の減少となりました。これは主に定期預金の払戻による収入2億円、補助金の受取額10百万円の資金の増加に対して、定期預金の預入による支出2億円、有形固定資産の取得による支出67百万円の資金の減少によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度末において財務活動における資金は、1億81百万円の増加となりました。これは主に金融機関からの長期借入れによる収入2億50百万円の資金の増加に対して、長期借入金の返済による支出68百万円によるものです。

(4) 今後の見通し

当社グループの属する印刷事業においては、従前からの電子メディアの多様化による印刷物の需要の減少、受注価格の下落等の厳しい経営環境が続く中で、引き続き、新型コロナウイルスの感染拡大防止による経済活動の収縮が想定されます。

このような状況において、当社は、長年培ってまいりました経験・知見を生かし、時代のニーズに即した新たな視点での営業提案により、新規顧客の開拓と既存顧客の深耕に注力いたします。更に、印刷ワンストップ体制を活かした営業やプリントマネジメントの提案を通じ、お客様のニーズ・課題を解決し、より大きな付加価値をお客様にご提供することにより売上の確保・拡大を目指してまいります。

また、生産技術及び生産効率の向上によるコストダウンを更に推進し、構造的な収益性をより一層高めてまいります。

次期の業績見通しにつきましては、イベント中止などの経済活動の収縮の影響を受ける中で、引き続き、生産から営業まで諸施策を着実に展開することにより、売上高40億円、営業損失56百万円、経常損失33百万円、親会社に帰属する当期純損失43百万円を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、国際的な事業展開や資金調達を行っておりませんので、日本基準に基づき財務諸表を作成しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,422,311	1,745,780
受取手形及び売掛金	812,689	809,484
電子記録債権	127,625	97,404
商品	5,648	10,430
仕掛品	95,705	73,346
原材料及び貯蔵品	23,570	20,298
その他	52,279	60,128
貸倒引当金	△1,094	△1,073
流動資産合計	2,538,737	2,815,799
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	628,372	579,759
機械装置及び運搬具(純額)	418,120	356,255
土地	209,412	209,412
その他(純額)	23,807	40,113
有形固定資産合計	1,279,713	1,185,541
無形固定資産		
その他	25,459	22,338
無形固定資産合計	25,459	22,338
投資その他の資産		
投資有価証券	4,574	2,498
繰延税金資産	51,496	19,178
その他	171,293	156,168
貸倒引当金	△3,081	△2,708
投資その他の資産合計	224,282	175,136
固定資産合計	1,529,455	1,383,016
資産合計	4,068,192	4,198,816
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	667,714	699,812
1年内返済予定の長期借入金	66,168	76,168
未払法人税等	9,138	9,897
賞与引当金	55,577	46,884
その他	85,503	130,037
流動負債合計	884,101	962,798
固定負債		
長期借入金	414,395	585,727
退職給付に係る負債	431,480	424,702
固定負債合計	845,875	1,010,429
負債合計	1,729,976	1,973,228
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	2,111,916	2,111,916
利益剰余金	554,031	441,799
自己株式	△428,159	△428,244
株主資本合計	2,337,788	2,225,470
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	428	116
その他の包括利益累計額合計	428	116
純資産合計	2,338,216	2,225,587
負債純資産合計	4,068,192	4,198,816

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	4,302,024	3,830,617
売上原価	3,513,761	3,167,739
売上総利益	788,262	662,877
販売費及び一般管理費	801,879	817,392
営業損失(△)	△13,616	△154,514
営業外収益		
受取利息	48	35
受取配当金	182	55
作業くず売却益	20,415	17,906
雇用調整助成金	—	49,740
補助金収入	—	5,614
その他	9,047	8,196
営業外収益合計	29,693	81,549
営業外費用		
支払利息	3,768	3,439
支払補償費	1,060	1,032
創立費償却	659	—
開業費償却	787	—
営業外費用合計	6,275	4,472
経常利益又は経常損失(△)	9,800	△77,437
特別利益		
固定資産売却益	20,149	—
投資有価証券売却益	—	778
補助金収入	100,000	10,000
特別利益合計	120,149	10,778
特別損失		
固定資産除却損	0	125
投資有価証券評価損	24,999	—
工場閉鎖損失	—	3,055
特別損失合計	25,000	3,180
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	104,950	△69,840
法人税、住民税及び事業税	9,156	9,910
法人税等調整額	59,573	32,482
法人税等合計	68,729	42,392
当期純利益又は当期純損失(△)	36,221	△112,232
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	36,221	△112,232

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益	36,221	△112,232
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△241	△311
その他の包括利益合計	△241	△311
包括利益	35,979	△112,544
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	35,979	△112,544

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	100,000	2,111,916	540,132	△427,884	2,324,163
当期変動額					
剰余金の配当			△22,321		△22,321
親会社株主に帰属する 当期純利益			36,221		36,221
自己株式の取得				△275	△275
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	13,899	△275	13,624
当期末残高	100,000	2,111,916	554,031	△428,159	2,337,788

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	その他有価 証券評価差 額金	その他の包 括利益累計 額合計	
当期首残高	669	669	2,324,833
当期変動額			
剰余金の配当			△22,321
親会社株主に帰属する 当期純利益			36,221
自己株式の取得			△275
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△241	△241	△241
当期変動額合計	△241	△241	13,382
当期末残高	428	428	2,338,216

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	100,000	2,111,916	554,031	△428,159	2,337,788
当期変動額					
剰余金の配当					
親会社株主に帰属する 当期純利益			△112,232		△112,232
自己株式の取得				△84	△84
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	△112,232	△84	△112,317
当期末残高	100,000	2,111,916	441,799	△428,244	2,225,470

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	その他有価 証券評価差 額金	その他の包 括利益累計 額合計	
当期首残高	428	428	2,338,216
当期変動額			
剰余金の配当			
親会社株主に帰属する 当期純利益			△112,232
自己株式の取得			△84
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△311	△311	△311
当期変動額合計	△311	△311	△112,628
当期末残高	116	116	2,225,587

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	104,950	△69,840
減価償却費	169,857	169,983
繰延資産償却額	1,446	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,658	△393
賞与引当金の増減額 (△は減少)	2,568	△8,693
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△7,109	△6,777
有形固定資産売却損益 (△は益)	△20,149	—
補助金収入	△100,000	△10,000
売上債権の増減額 (△は増加)	△12,947	33,799
たな卸資産の増減額 (△は増加)	16,945	20,849
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	778	△8,228
仕入債務の増減額 (△は減少)	849	32,098
未払金の増減額 (△は減少)	2,465	725
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△16,467	29,340
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△24,421	13,492
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△778
投資有価証券評価損益 (△は益)	24,999	—
工場閉鎖損失	—	3,180
雇用調整助成金	—	△49,740
受取利息及び受取配当金	△230	△91
支払利息	3,768	3,439
その他	8,282	12,757
小計	153,927	165,123
利息及び配当金の受取額	230	91
雇用調整助成金の受取額	—	49,740
利息の支払額	△3,714	△3,477
法人税等の支払額	△8,868	△9,156
法人税等の還付額	110	17
営業活動によるキャッシュ・フロー	141,686	202,339
投資活動によるキャッシュ・フロー		
短期貸付けによる支出	△4,990	—
短期貸付金の回収による収入	4,990	—
定期預金の預入による支出	△200,000	△200,000
定期預金の払戻による収入	200,000	200,000
投資有価証券の取得による支出	△25,000	—
投資有価証券の売却による収入	—	2,378
繰延資産の取得による支出	△1,446	—
従業員に対する貸付けによる支出	△2,560	—
従業員に対する貸付金の回収による収入	2,390	466
有形固定資産の取得による支出	△381,272	△67,914
有形固定資産の売却による収入	20,150	—
無形固定資産の取得による支出	△22,661	△4,300
差入保証金の差入による支出	△1,380	△215
差入保証金の回収による収入	116	154
補助金の受取額	100,000	10,000
その他	△1,742	△686
投資活動によるキャッシュ・フロー	△313,406	△60,117

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	250,000
長期借入金の返済による支出	△82,035	△68,668
自己株式の取得による支出	△275	△84
配当金の支払額	△21,995	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△104,305	181,247
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△276,025	323,468
現金及び現金同等物の期首残高	1,568,337	1,292,311
現金及び現金同等物の期末残高	1,292,311	1,615,780

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループの事業セグメントは、印刷関連事業のみの単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高
カルネコ株式会社	529,840

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高
カルネコ株式会社	533,278

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	2,095.56円	1,994.84円
1株当たり当期純利益又は、1株当たり 当期純損失	32.46円	△100.59円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△) (千円)	36,221	△112,232
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利 益又は普通株式に係る親会社株主に帰属する当 期純損失(△)(千円)	36,221	△112,232
普通株式の期中平均株式数(千株)	1,115	1,115

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	2,338,216	2,225,587
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	2,338,216	2,225,587
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普 通株式の数(千株)	1,115	1,115

(重要な後発事象)

該当事項はありません。